

# 株式会社タカラトミー 2017年3月期 決算説明会

2017年5月12日  
証券コード: 7867

# 2017年3月期 決算概要

2017年5月12日

株式会社タカラトミー  
取締役 小島 一洋

# 連結損益計算書

**TAKARA  
TOMY**

単位: 億円

	2017年3月期			2016年3月期	増減
	実績	2017年5月9日修正	期初見通し	実績	
売上高	1,676	1,676	1,680	1,630	+46
売上原価	1,039	—	—	1,057	-18
売上総利益	637	—	—	573	+64
営業利益	77	77	40	26	+51
営業利益率	4.6%	4.6%	2.4%	1.7%	+2.9%
EBITDA	162	—	—	116	+46
経常利益	78	78	32	14	+64
当期純利益(損失)	53	53	15	-67	+120

※ 金額は表示単位未満切捨て

- ◆ 売上高  
国内における、「定番商品」「ベイブレードバースト」「デュエル・マスターズ」の販売が大幅に増加するとともにアジアでも販売好調
- ◆ 売上総利益  
利益率の高い国内玩具の販売が好調に推移したことに加え、仕入原価などが減少
- ◆ 営業利益  
販売費及び一般管理費が増加したものの(P4.参照)、売上総利益が増加
- ◆ 経常利益  
営業利益の増加に加え為替差益を計上
- ◆ 当期純利益  
TOMY International グループにおける一部無形固定資産の減損損失を計上したものの(P6.参照)経常利益が大幅に増加

※ TOMY International(以下、「TI」)買収に伴うのれん償却、及び無形固定資産償却の合計 今期20億円、前期26億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 ※ ドル換算レート: 当期 108.38円、前期 120.14円

# 販管費明細

単位: 億円

	2017年3月期	2016年3月期	増減
販管費合計	559	546	+13
人件費	190	185	+5
広告宣伝費	134	116	+18
研究開発費	30	28	+2
物流費	70	71	-1
TI買収に伴う のれん等償却費	20	26	-6
	\$18.7百万米ドル	\$22.4百万米ドル	-3.7

※金額は表示単位未満切捨て

## ◆ 販管費合計

売上拡大を推進するにあたり、マーケティング及び新商品開発に注力しており、  
広告宣伝費及び研究開発費を増加

# 地域別売上高

**TAKARA  
TOMY**

単位: 億円

地域	2017年3月期	2016年3月期	増減
日本	1,059	952	+107
北米	339	389	-50
欧州	99	116	-17
オセアニア	28	27	+1
アジア	132	113	+19
その他	16	30	-14
合計	1,676	1,630	+46
海外売上比率	36.8%	41.6%	-4.8%

※金額は表示単位未満切捨て

- ◆ 日本  
「定番商品」「ベイブレードバースト」「デュエル・マスターズ」などの販売が好調に推移
- ◆ 北米  
ポケモン関連商品の販売が好調に推移したものの、映画コンテンツの商品展開が一巡したことに加え、農耕車両玩具やベビー、プリスクール関連商品の販売が低調に推移
- ◆ 欧州  
グローバルで展開するポケモン関連商品が人気。映画コンテンツの商品展開が一巡した影響や、ベビー、プリスクール商品などの販売は低調に推移
- ◆ オセアニア  
昨年度人気を博した映画コンテンツの商品展開が一巡したものの、「ポケモン」関連商品の販売が好調に推移するとともに、日本商品の展開を進めた
- ◆ アジア  
日本と同様にPOA※拡大に取り組んでおり、コンビニエンスストアや書店などでの取り扱い増加により、販売が好調に推移

※POA: Point of Availability 販売箇所

# 特別損失のポイント

## ■ 主要変動項目

単位: 億円

	2017年3月期	2016年3月期	増減
特別損失	7	85	-78
減損損失	6	74	-68
事業構造改善費用	—	6	-6

※金額は表示単位未満切捨て

### ◆ 減損損失

2017年3月期はTOMY International グループでは事業の集中と選択に取り組んでおり、その一環としてオセアニアにおける一部ベビー用品の無形固定資産の減損損失を計上

# 連結貸借対照表のポイント

## ■ 主要変動項目

単位: 億円

科目	2017年3月期	2016年3月期	増減
たな卸資産	155	200	-45
日本	95	124	-29
海外	80	113	-33
未実現利益消去	-20	-37	+17

有利子負債合計	647	717	-70
借入金	547	617	-70
社債	100	100	-

※金額は表示単位未満切捨て

## ◆ たな卸資産

海外子会社 TOMY International 前期比 - \$30百万米ドル (日本円換算で -34億円)  
(今期: \$61百万米ドル 前期: \$91百万米ドル)

ドル換算レート: 当期 112.19円、前期 112.68円

		2017年3月期	2016年3月期	増減
TOMY International のれん残高	外貨(\$百万米ドル)	182	195	-13
	円貨(億円)	204	220	-16
TOMY International 無形固定資産残高	外貨(\$百万米ドル)	102	112	-10
	円貨(億円)	114	126	-12





A hand is shown placing a wooden block on top of a pyramid of wooden blocks. The pyramid is built from many small, light-colored wooden blocks, and the hand is holding one more block, ready to place it on top. The background is white.

**改革の積み重ねが  
最大級の業績を生み出しました**

**H. メイ  
2017年5月12日**

単位：億円

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績
売上高	1,499	1,630	1,676
営業利益	24.7	26.9	77.4
営業利益率	1.6%	1.7%	4.6%

2011年度

売上高 1,872  
営業利益 101.8

EBITDA 168

2016年度

売上高 1,676  
営業利益 77.4

EBITDA 162

EBITDA  
過去最大級

2012年度

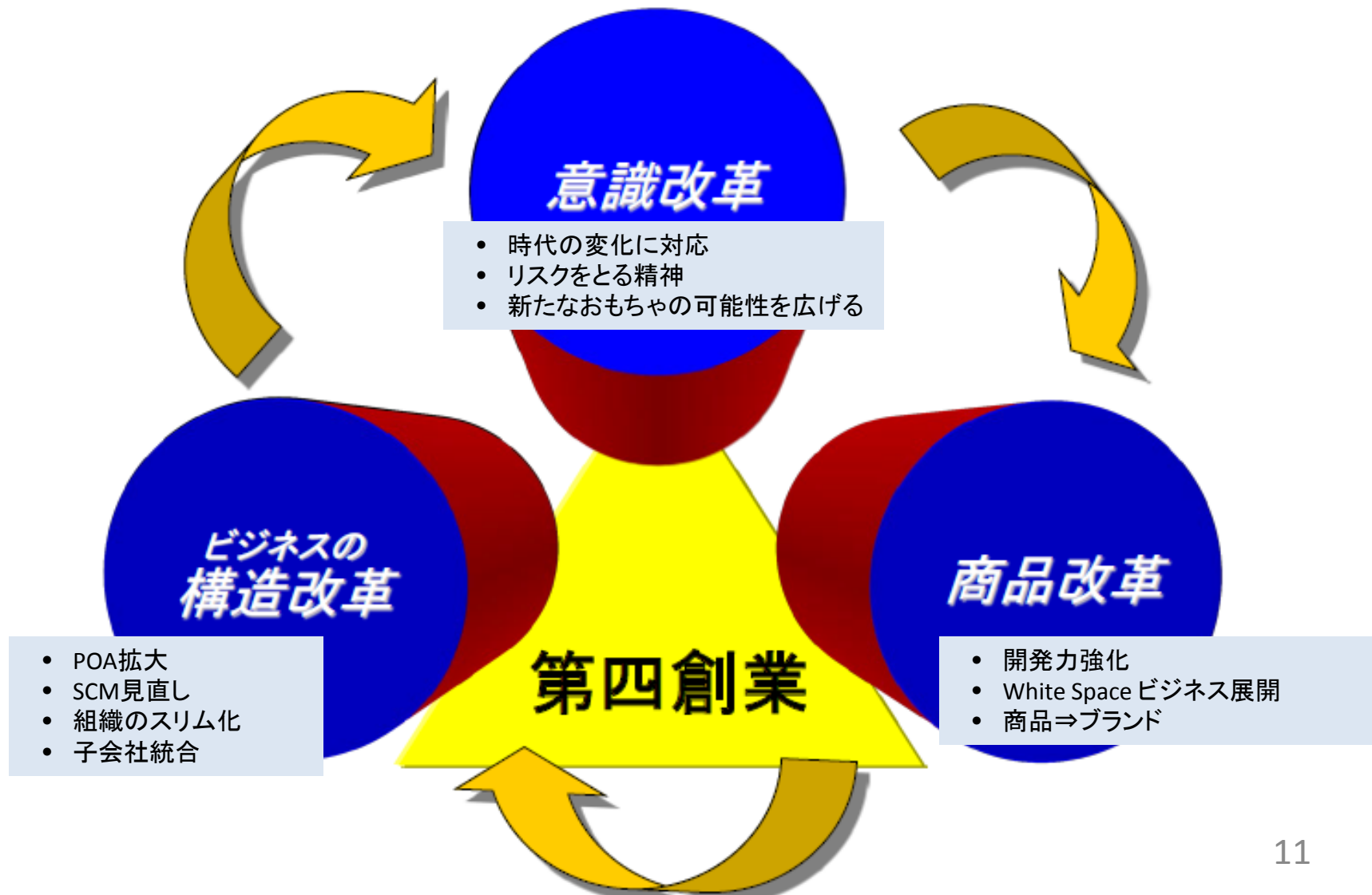
当期純損失 -71.7

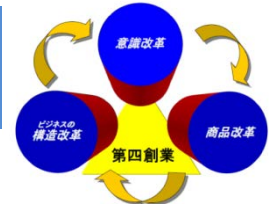
当期純利益 53.7

過去最大級利益

※EBITDA＝営業利益 ＋ 減価償却費・のれん償却費

## 第四創業のためには三つの改革が不可欠





## INPUT

アイディア  
+  
コンテンツ

開発人員 → 2倍  
自社コンテンツ↑  
新規部隊(大人・WEB)  
3大コンテンツ取得

## PROCESS

ビジネスプロセス

「9箱」でフラット化  
部・課 20%削減  
幹部 → 平均5才若返り  
子会社 38 → 35  
報酬制度 → 平等・透明化  
次世代マーケティング・IR  
コスト削減 10億→15億

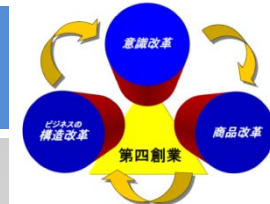
## OUTPUT

売上

4四半期連続売上増  
国内=14/32グループ昨対↑  
=POA・POI別部隊  
=POP実績確認  
海外=アメリカ フラット(EU減収)  
=ロシア・ポーランド新支店  
=南米:新たな人材・顧客

単位:億円

	2014年度 実績
売上高	1,499
営業利益	24.7
営業利益率	1.6%



## ビジネスの育て方

1. 今売っている商品を伸ばす
  - 定番
  - 新商品
  - **B I G B E T** (最重点商品)
  - おもちゃ4.0
2. カテゴリーを増やす
  - 大人    - **W E B**    - **S N S**
3. マーケットを広げる
  - 海外    - **P O A ・ P O I**
4. 資産・価値拡大
  - **B r a n d i n g**
  - ライセンシング



単位: 億円

	2014年度 実績	2015年度 実績
売上高	1,499	1,630
営業利益	24.7	26.9
営業利益率	1.6%	1.7%



# 2016年度

前年度比  
売上高

## +3%



ほぼFLAT

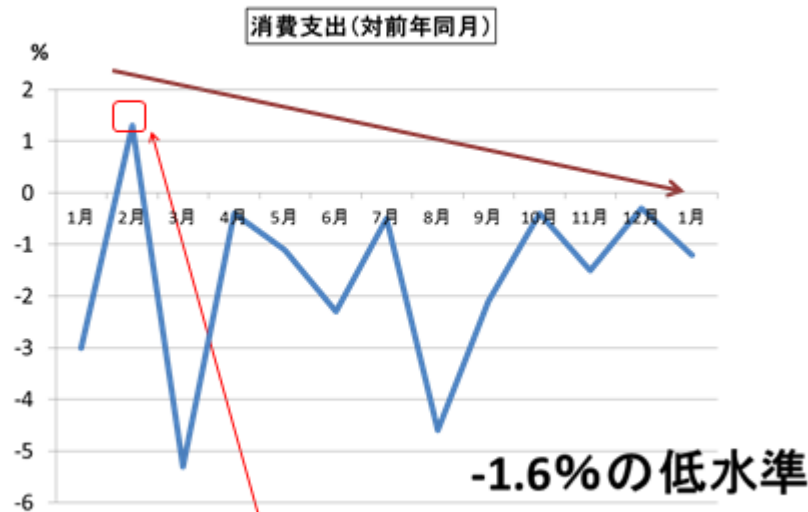
## 日本玩具市場

(約8,000億円)

※上代価格(希望小売価格)ベース

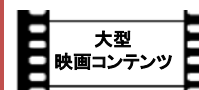
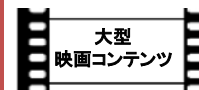
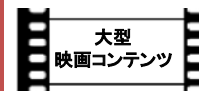
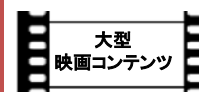
出所: 日本玩具協会

市場・消費者心理は以前厳しい状況



うるう年による影響(対前年同月実質増減率を2.7ポイント押し)

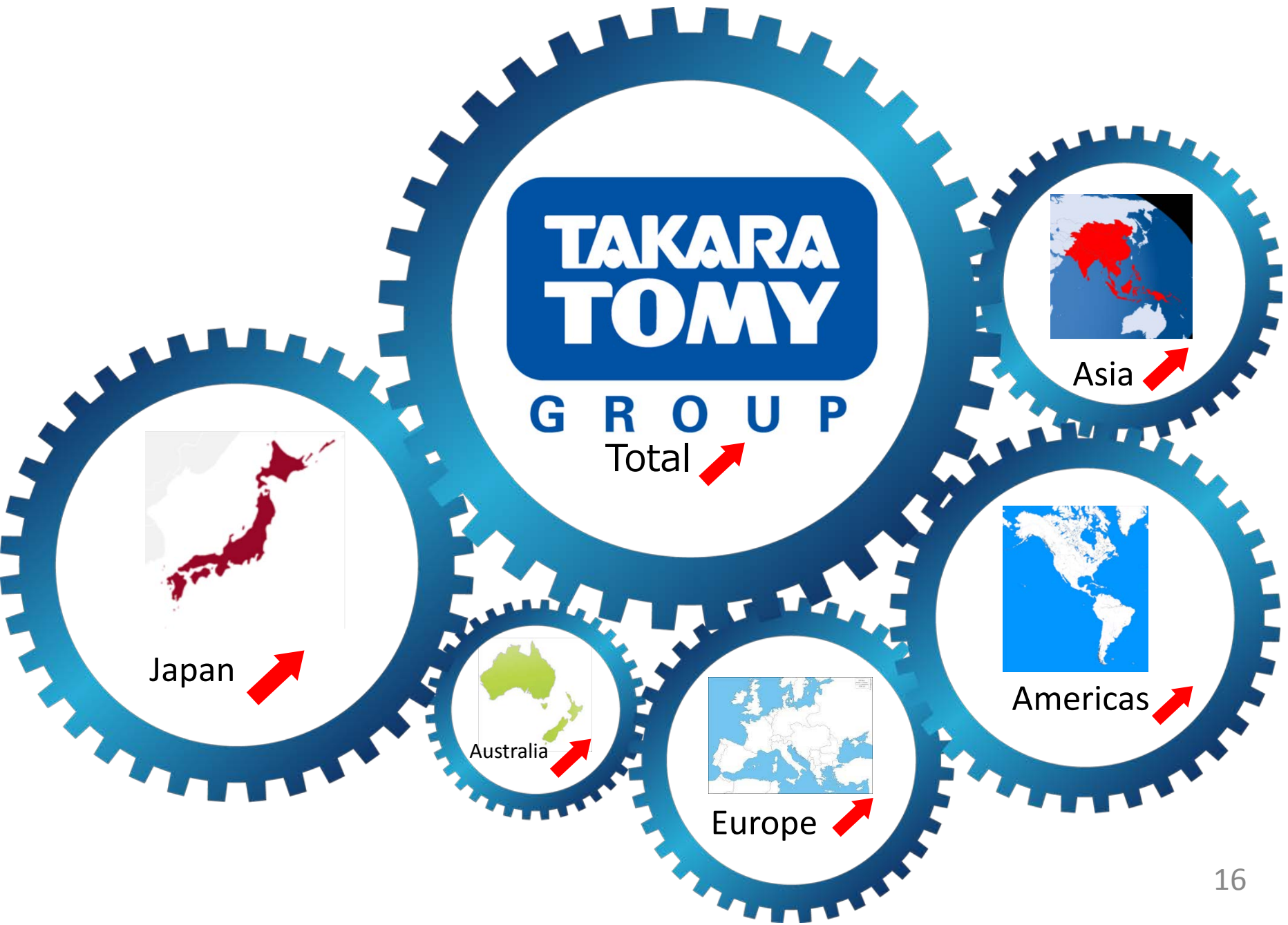
出所: 総務省 家計調査報告



大型映画  
コンテンツ巡

2016

営業利益は国内・アジアで増加 アメリカズ・欧州・オセアニアでは大幅改善







「ベイブレードバースト」 「デュエル・マスターズ」  
定番商品↑、BBBヒット、DM大復活、  
2年連続日経MJヒット番付入り、タカラトミーアーツ過去最高売上

売上 +110億円

※報告セグメント 外部顧客への売上高



過去最高売上、コンビニなど+30k店 POA拡大成功、  
SKU数 前年度比120%、BBB韓国・香港・台湾ヒット

売上 +16億円

※報告セグメント 外部顧客への売上高



黒字化達成、ポケモン大ヒット

営業利益 -15億円 ⇒ +1億円

※報告セグメント



構造改革推進、赤字大幅改善

営業利益 -24億円 ⇒ -5億円

※報告セグメント



利益改善、日本連携強化  
トイメーカーシェア初TOP10入り



**TVアニメ、ゲーム、まんがなど  
過去最大級のキャラクターコンテンツを展開**

**充実した新規商品  
ヒット商品 続出**

**定番商品**（トミカ・プラレール・リカちゃんなど）  
**過去最大の売上高**

合併以来最高値

1,313円

2017年2月10日

1,187円

2017年3月31日

+43%

830円

2016年3月31日

+16%

714円

2015年4月1日

+51%

474円

2014年4月1日

2017年2月24日 発表  
自己株式の処分および株式の売出し

新たな成長に向けた資金調達 62億円

- ・新規コンテンツの取得・出資
- ・スマホアプリ事業の強化等



**2017年度はどのような年になるでしょうか？**



2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

国内

アジア

海外

ベイブレードバースト

スナックワールド

トランスフォーマー  
ムービー5

アイドル×戦士  
ミラクルちゅーんず！

カミワザワンダ

ドライブヘッド

僕のヒーローアカデミア

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ

スター・ウォーズ

大型  
映画コンテンツ

大型  
映画コンテンツ

TAKARA  
TOMY  
GROUP

約20 大型  
コンテンツ

新規  
コンテンツ

新規事業  
アプリなど

新規  
コンテンツ

新規  
コンテンツ

単位:億円

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 計画
売上高	1,499	1,630	1,676	1,700
営業利益	24.7	26.9	77.4	80
営業利益率	1.6%	1.7%	4.6%	4.7%



2016.5.13発表 2017年度 計画  
2017.5.10発表 2017年度 計画

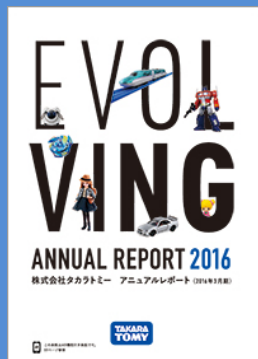
売上高 1,900 → 1,700 ▲200億円

- ベイブレード海外 展開時期のズレ
- TVキャラクター、映画コンテンツ 放送終了
- 北米既存事業への集中・選択
- その他



アニュアルレポート2016

**3年連続**  
世界総合TOP10

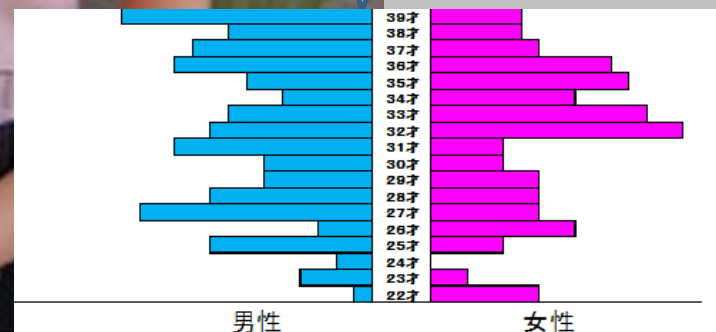


新卒採用  
年間3万人以上  
のエントリー

入社3年以内  
の離職率

**0%**

やる気が  
違う！

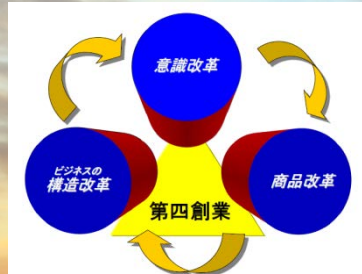


53%

47%

女性の  
復職率100%





商品 → ブランド

財産を作り、  
投資  
効率↑

アナログ → デジタル

(要素を取り込む)

時代に  
合った  
新たな  
遊び

ローカル → グローバル

売上↑



## 2017年度

- 1) 各地域改善→特に利益面
- 2) 戦略・方針に大きな変更なし
- 3) 2017年強いコンテンツを  
多数投入







本資料には、タカラトミーの現在の見通し、目標、計画、戦略など将来に関する記述が含まれておりますが、これらは現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または事業展開を確約したり、保障するものではありません。